

共 催

お茶の水女子大学 女性リーダー育成プログラム「生命情報学を使いこなせる女性人材の育成」  
文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」(※)

# 第10回バイオインフォマティクスへの招待

## バイオリソース事業における インフォマティクスの役割

深海 薫 先生

(理化学研究所バイオリソースセンター情報解析技術室長)

**講演概要**：ライフサイエンスの研究には、人材と設備だけでなく、研究目的に適った実験材料（バイオリソース）が必要です。理研バイオリソースセンターでは、ライフサイエンス研究に有用な実験材料を収集し、高度な品質管理の下で増殖・保存し、国内外の研究者に提供する事業を実施しています。事業で扱っているのは「もの」ではありませんが、それに付随する「情報」もまた、事業の中で必要不可欠な役割を担っています。本セミナーではバイオリソースにとって情報がどのように重要であるかを理研バイオリソースセンターの情報関連の活動を例にご紹介するとともに、研究のインフラ整備を行うことの意義についてもお話したいと思っています。

**日時**：平成19年12月6日(木) 16:40～18:10

**場所**：お茶の水女子大学 理学部2号館4階405室  
(生物学第2講義室)

◆講師紹介◆ 深海 薫 先生

お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科修了、学術博士  
名古屋大学助手、国立遺伝学研究所助手を経て、2003年7月より  
理化学研究所バイオリソースセンター情報解析技術室長  
名古屋大学ではタンパク質の分子進化学の研究に従事  
遺伝学研究所ではそれに加えてDDBJ(日本DNAデータバンク)の事業にも従事  
現在はバイオリソースセンターが収集・保存・提供するバイオリソースの情報整備に  
従事している



参加費： 無 料 (申し込み不要)

問合せ先： お茶の水女子大学 女性リーダー育成プログラム  
「生命情報学を使いこなせる女性人材の育成」事務局  
E-mail：bioinfo@cc.ocha.ac.jp / Tel：03-5978-5698

アクセス： 丸ノ内線茗荷谷駅または有楽町線護国寺駅下車徒歩8分  
<http://www.ocha.ac.jp/access/index.html>

※本セミナーは、お茶の水女子大学が受託している平成19年度文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」が共催しています。